

持続可能な原材料調達 連続セミナー

第1回“食”の原材料と持続可能性

日時： 2006年5月30日 13:30～17:00

場所： 環境パートナーシップオフィス会議室

主催： 地球・人間環境フォーラム

協力： FoE Japan、WWF ジャパン、グリーンコンシューマー研究会、グリーン・フォワード、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、日本環境ジャーナリストの会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、標準により消費者の利益を増進するコア・グループ(NCOS) (ABC/50 音順)

日本は、世界有数の資源消費国であり、多くの資源がさまざまな形で発展途上国から輸入されています。本来、原材料の調達にあたっては、日本国内だけでなく生産地における環境・社会配慮が欠かせないはずですが、複雑なサプライチェーンや情報の不足から、これらの問題は必ずしも消費国で認識されてはいないのが実情です。私たち消費者がより安いものを求め、企業がそれを提供することに注力すればするほど、原材料生産にあたって必要な環境社会配慮の費用が支払われず、そのツケを払うのは、環境問題や社会問題で被害を受ける現地の人々ということになりかねません。企業の社会的責任が問われる今こそ、集積された過去の事例に学び、国として、企業として、原材料調達の問題に戦略的に取り組むことが重要です。

本連続セミナーは、私たちの身近な食や住まいなどに使用されている一次産品がいったいどこから来るのか、どのような環境社会影響が生じうるのか、また、それを解決するための企業の取り組み事例について紹介します。

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:35-14:20 | 1. 食卓からみた生物多様性
足立直樹 / 地球・人間環境フォーラム、CSR 経営研究所 |
| 14:20-15:05 | 2. 世界の漁業は今
井田徹治 / 共同通信社科学部 |
| 15:05-15:15 | ～ 休憩 ～ |
| 15:15-16:00 | 3. 持続可能な漁業と認証制度の可能性
伊沢あらた / WWF ジャパン |
| 16:00-16:30 | 4. 企業の取組事例
満田夏花 / 地球・人間環境フォーラム |
| 16:30-17:00 | 5. ディスカッション |

司会・進行：根津亜矢子 / 地球・人間環境フォーラム

第1回 “食”の原材料と持続可能性

～ 講演者略歴 ～

足立 直樹(あだち・なおき) / 地球・人間環境フォーラム客員研究員、(株)CSR 経営研究所取締役。理学博士

東京大学理学部卒、同大学院理学系研究科修士課程、博士課程を修了。1995年から2002年まで国立環境研究所で熱帯林の研究に従事。1999年から3年間マレーシア森林研究所へ派遣。

帰国後独立し、先進企業の環境経営のコンサルティングに携わると同時に、国土館大学の非常勤講師、東京大学21世紀COEプロジェクト特任研究員などを経て、2004年から(株)CSR 経営研究所取締役。現在は特に、「企業と生物多様性」および、「アジアのCSR」の二つのテーマに力を注いでいる。

井田 徹治(いだ・てつじ) / 共同通信社科学部次長

東京大学文学部卒、共同通信社に入社。つくば通信部などを経て1991年、本社科学部記者。2001年から2004年まで、ワシントン支局特派員(科学担当)。現在、科学部次長。環境と開発の問題を長く取材、気候変動に関する政府間パネル総会、気候変動枠組み条約締約国会議、ワシントン条約締約国会議、環境・開発サミット(ヨハネスブルグ)、国際捕鯨委員会総会など多くの国際会議も取材している。著書には、「データで検証!地球の資源ウソ・ホント」(講談社 ブルーバックス)、「サバがトロより高くなる日、危機に立つ世界の漁業資源」(講談社現代新書)などがある。

伊沢 あらた(いざわ・あらた) / WWFジャパン 海洋担当。水産学博士

水産商社に勤務し、太平洋の島嶼国や北欧の国々を飛び回り、マグロやサケなどの水産物の輸入に携わる。その後、東京水産大学大学院水産学研究科博士課程を修了(資源管理学)。学位取得後、WWFジャパン海洋担当として違法漁業問題、MSCの国内導入など、持続可能な水産物の生産・流通・消費に取り組む。漁業者・行政・企業とのパートナーシップによる建設的な問題解決を目指している。各国のWWFの海洋担当スタッフと常時連携をとりながら、グローバルに活動している。

満田 夏花(みつた・かんな) / 地球・人間環境フォーラム

地球・人間環境フォーラム主任研究員。国際協力機構(JICA)環境社会配慮審査会委員、明治学院大学非常勤講師。2001～2004年国際協力銀行(JBIC)環境審査室に勤務。現在は、「発展途上国における企業の社会的責任(CSR in Asia)」、「国際金融機関の環境社会配慮」、「原材料調達のグリーン化支援調査」などに従事している。

<今後のセミナー予定>

第2回 植物油脂(パーム油と大豆油を例に) 6月27日(火) 14:00～17:00

(「持続可能なパーム油と大豆油とは?」「エコ燃料の落とし穴」など)

第3回 鉱物資源 7月25日(火) 14:00～17:00

(「鉱山資源の生産における環境社会影響」「事例研究～ニューカレドニア、ニッケル鉱山開発」など)

第4回 木材と木材製品 9月下旬予定

第5回 金融 10月下旬予定

第6回 企業の取り組み事例 12月上旬予定

問合せ先

地球・人間環境フォーラム

Tel. 03-3592-9735 E-mail: bwa15929@nifty.com

担当: 根津亜矢子

http://www.gef.or.jp/seisakuteigen/genzairyous_seminar2006.htm